

福岡市地下鉄の駅業務 90%超を民間委託化へ！！

このたび、福岡市地下鉄の今後の経営のあり方を検討した結果、現在、箱崎線・七隈線で実施している駅業務の民間委託を、90%を超える駅で実施する方針を決定しました。

公営地下鉄の中で、福岡市地下鉄の駅業務の民間委託率はこれまでも全国トップですが、この取り組みをさらに進めていきます。

1 民間にできるものは民間に、最適な経営のあり方を検討

団塊世代の大量退職にあわせ、官民の役割分担を大胆に見直して、民間にできるものは民間に替えていくため、地下鉄の最適な経営のあり方を検討しました。

福岡市地下鉄は、建設時の巨額の投資により、現在、約1,400億円の累積欠損金、約3,000億円の借入金を抱えており、安定した経営を行うとともに、七隈線延伸事業(※1)を推進していくためには、国庫補助制度など、公営企業独自の制度を最大限に活用しながら、民間の優れた能力を幅広く取り入れることが、市民ニーズを踏まえた質の高いサービスを安定的に提供していく上で、市民や地下鉄利用者にとって最も有益であるとの結論に至りました。

**公営企業独自の制度を最大限活用しながら、
民間の優れた能力を取り入れることが、最も有益!!**

※1 七隈線延伸事業(総事業費:約450億円)を公営企業で実施することにより、国から約200億円の財政支援(補助金・地方交付税措置)を受けて推進しています。

2 駅業務の民間委託を拡大します

駅全体の安全管理など、管理的業務全般を純粋な民間に委託することは、国から認められておらず、今後も交通局において実施する必要があります。そのような業務に従事する職員を育成するため最低限必要な主要駅(3駅)以外の全駅の業務を民間に委ねます。

	現 状	方 針
委託駅	23駅	32駅
直営駅	12駅	3駅
合計	35駅	35駅

3 対象駅と実施時期

【対象駅】

新たに民間委託を実施する9駅

(空港線) 室見, 藤崎, 西新, 唐人町, 大濠公園, 赤坂, 祇園, 東比恵, 福岡空港

管理的業務に従事する職員を育成するため直営で必要な3駅

(空港線) 姪浜, 天神, 博多

【実施時期】平成26年度から順次実施

平成26年度に大濠公園駅, 赤坂駅の2駅, 平成27年度に唐人町駅の1駅を民間に委託し, その後も職員の退職にあわせ, 着実に進めていきます。

4 効果

【費用面】

9駅を民間委託した場合, 下記の職員数・人件費の削減効果を見込んでいます。

職員数: 約60名

人件費: 年間約1.8億円

【サービス面, 安全面】

- ・民間の優れた能力を取り入れ, 更なるお客様サービスの向上に努めます。
- ・地下鉄の安全など, 管理的業務は, これまでどおり交通局が責任を持って実施します。

(参考) 他公営地下鉄の状況

【平成25年7月時点】

都市	札幌	仙台	東京	横浜	名古屋	京都	大阪	神戸	福岡	→実施後	
駅数	49	17	101	40	85	31	133	26	35	35	
(内訳)	直営	0	17	48	9	78	14	127	9	12	3
	公社等委託 (公社等委託率)	49 (100%)	0 (0%)	53 (52%)	17 (43%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (5%)	17 (65%)	0 (0%)	0 (0%)
	民間委託 (民間委託率)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	14 (35%)	7 (8%)	17 (55%)	0 (0%)	0 (0%)	23 (66%)	32 (91%)
	委託率合計	100%	0%	52%	78%	8%	55%	5%	65%	66%	91%